

PTR620 ご使用にあたってのよくある質問

ご使用中の方へ

PTR620について、お客様からよく寄せられるご質問とその答えをご紹介します。機能や活用方法に加えて、利用中のトラブル解決の方法などについてもご案内しています。

お問い合わせの前に、ご参照いただければ幸いです。

動画QR▼



PTR600RC動画(※開始46秒より) → <https://youtu.be/bUw7daqzfxM>

Q₁ 電源が入らない/探索が不安定になる/信号が届かない/受信機の音が鳴り続ける

A₁ 電池不足の可能性がございます。充電もしくは電池交換をしてください。
※音が変わる場合は強感度の場合ノイズの可能性もあります。

Q₂ 音が鳴らない/全て音が鳴る

A₂ アースを接続していますか？単独のアースを取って頂くとより分かりやすくなります。

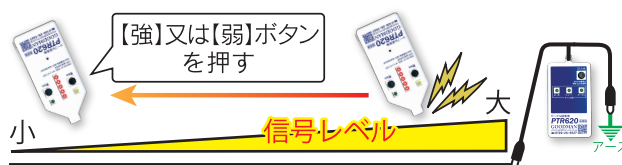
Q₃ アースが取れない環境の時はどうすればいいの？

A₃ ・アースを取らなくても信号は送信できますが送信出力が非常に弱くなります。筐体アースでも対応可能ですが、できるだけ質の良い単独アースのご利用が性能向上に繋がります。

※
※単独アース：RSTのS相をアースとして代用することはR相S相間で電磁パルスが相殺し合う為、どのような場合においても二線間への信号送信はおすすめしません。この場合単独アースとは鉄筋・鉄製階段・フェンスあるいはアース棒による配線路とは分離したアースのことを示します。

Q₄ 探索中に音とLEDがなくなった場合は？

A₄ マイクロプロセッサが最大レベルの信号を受信すると自動的にそれ以下の信号をゼロとみなすため、受信機の「強」または「弱」ボタンを再度押すことによりリセットがかかり、最大感度で探索を続行できます。



Q₅ 探索時受信が不明瞭になった/目的線以外も反応する/ノイズの影響が強い場合は？

A₅ ① 必ず送信用アダプタリードを使用して、単独のアースを別回路で取ってください。
〈アース例〉盤内アース・鉄筋・ダクト・水道管など

- ・2線に直接信号を送信すると送信信号が弱くなるためおすすめしません。
 - ・送信機のプラグは基本的にはそのままコンセントに差し込んで使用するものではありません。(送信機のプラグを差し込み信号を送ることも可能ですが信号が弱くなる事が想定されます。)
- 送信用アダプタリードに送信機のプラグを差し込み、片側にワニ口クリップ、もう片側にブレードをそれぞれ装着し、コンセントに対応するブレーカーの探索準備を行ってください。



② 正しい方法でスキャン出来ているかご確認後、受信機に覚え込ませるように数回スキャンして下さい。

Q6 漏電ブレーカーが心配な場合は？

A6 漏電ブレーカーの許容値は状況によって異なりますが、送信機から対地面に8mAの電流が流れることがあります。ご心配の場合はニュートラ線またはグランド線に接続下さい。但しこの場合は盤内アース以外の単独アースをご利用下さい。

Q7 目的のケーブル以外の箇所でも反応してしまう・・・なぜ？

A7 電力線や通信線、インバーター回路などから発せられる外来ノイズに反応している可能性があります。ノイズと受信信号の見分け方はノイズは連続音や不安定な断続音ですが、信号受信した際の受信音は「ピピピッ、ピピピッ、ピピピッ（活線時はピピッ、ピピッ、ピピッ）」と3回ずつ（2回ずつ）規則正しく鳴ります。

Q8 目的線の端末をループや地絡する必要はあるの？電圧供給の必要性は？

A8 端末の加工や電圧の供給は一切必要ありません。端末の開放・短絡・機器接続状態で探索できます。

Q9 探しているケーブルがコモン線の場合は？

A9 マルチ回線（分岐の多い回線）の分岐箇所や端末検出も行うことができます。

Q10 ケーブルが湾曲している場合は？

A10 ケーブルの湾曲箇所では信号が干渉しているため、直線部分と比較して発信が強くなる傾向になります。したがってこの部分に受信機が接触した場合は他の部分で信号が捕捉しにくくなります。この際、探索を再開するためにリセットボタンを押して受信機の感度を最大に戻す必要があります。



Q11 まとまったケーブルや太いケーブル、反対に細いケーブルを探索する場合は？

A11 オプション装備の非接触送信クランプ「GM-33」と先端プローブ「PT-1」をご利用ください。

非接触送信クランプ 33mm 〈GM-33〉

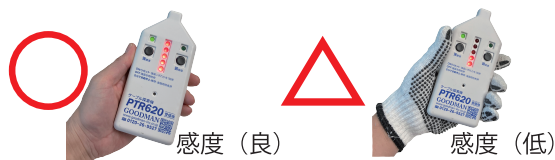
ケーブル被覆の上から非接触で信号を送信ができ、芯線に直接信号を送れないケーブルの途中やデータ回線でも安全・簡単に送信することができます。

先端プローブ 〈PT-1〉

細いケーブルや多数の端子の中から目的線を探索しやすくする導電樹脂製の先端プローブです。



ポイント 受信機を素手で持つと受信感度が高まります



漏電ブレーカーがご心配な場合

漏電ブレーカーの許容値は状況によって異なる為、送信機から対地面に8mAの電流が流れる事がご心配の場合はニュートラ線又はグランド線をご利用頂けます。但しこの場合は盤内アース以外の単独アースをご利用下さい（例：鉄筋・鉄柵など）